

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：東北振興局道路建設第一課
 担当課長名：松武 進太郎

事業名	一般県道俵ヶ浦田野線（赤崎工区）		事業区分	一般県道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県佐世保市船越町 至：長崎県佐世保市赤崎町		延長	2.92km		
事業概要	展海峰などの観光資源を近隣に有し、大型クルーズ船の観光客を乗せた大型バスの通行の増加が見込まれるため、通行の円滑化を図り、観光振興の活性化および住民生活の安全確保を目的とする事業。					
R2年度事業化	都市計画決定 なし		用地未着手	工事未着手		
全体事業費	70.0億	事業進捗率	3%	供用済延長	0.0km	
計画交通量	4,124台/日（R22）					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.10 (残事業) 1.15	総費用 (残事業)/(事業全体) 57.5/60.1億円 〔事業費：56.9/59.5億円 維持管理費：0.6/0.6億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 66.2/66.2億円 〔走行時間短縮便益：63.3/63.3億円 走行費用減少便益：2.8/2.8億円 交通事故減少便益：0.1/0.1億円〕	基準年 令和6年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 【全体事業】交通量変動：B/C=0.99~1.21（交通量 ±10%） 事業費変動：B/C=1.01~1.21（事業費 ±10%） 事業期間変動：B/C=1.06~1.15（事業期間 ±1年） 【残事業】B/C=1.03~1.27（交通量 ±10%） B/C=1.05~1.27（事業費 ±10%） B/C=1.10~1.20（事業期間 ±1年）					
事業の効果等	・車両走行性の向上（隘路および線形不良解消による走行性向上） ・安全性の向上（交通事故の危険性の軽減、安全な交通の確保） ・観光産業の発展に寄与（周辺観光地への円滑で快適な通行を確保、観光客の増加）					
関係する地方公共団体等の意見	佐世保市より整備促進の要望が行われている。					
事業再評価監視委員会の意見	—					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等	・NEXCO西日本により、佐々IC~佐世保大塔IC4車線化が整備されることから、俵ヶ浦半島へのアクセス向上や交流促進に伴う地域の産業・経済・文化の発展が期待される。 ・俵ヶ浦半島に展海峰と並び、観光施設として、令和4年に九十九島観光公園が開園。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	令和5年度末までの事業進捗率は3%で進捗しており、今後も引き続き事業の進捗を図り、令和14年度の事業完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	関係機関（米軍、SSK等）との協議に時間を要しているが、当該機関との協力体制の下、今後も引き続き事業の進捗を図り、令和14年度の事業完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等	関係機関との協議によるルート変更に伴う工法の変更					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。					
事業概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>位置図</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>標準断面図</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>一般県道俵ヶ浦田野線 （赤崎工区） 延長 1=2.92km</p> </div> </div>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額と割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

令和6年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建-10 道路改築事業
一般県道俵ヶ浦日野線
(赤崎工区)

事業主体 長崎県

再評価の理由 事業採択後5年経過
(事業費・工期)



1

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	備考
		着工	完了			
当初 (H31新規)	-	R2	R11	42.0	1.21	【工事概要】 全体延長L=2,920m 幅員=6.0 (9.75) m
第1回審議 (R6年度)	事業採択後 5年経過	R2	R14	70.0	1.10	【当初評価からの変更概要】 ・関係者協議による線形の見直しに よる事業費増額および事業期間延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

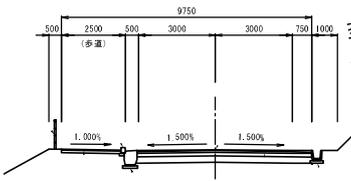
◆目的

- ・観光施設等への通行の円滑化
- ・観光振興の活性化、住民生活の安全確保

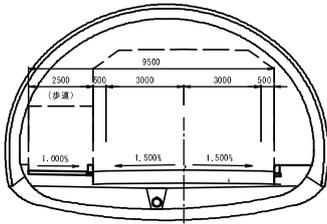
◆事業概要

全体延長	L=2.92km
幅員	W=6.0(9.75)m
計画交通量 (R22)	4,124台/日

標準断面図(土工部)



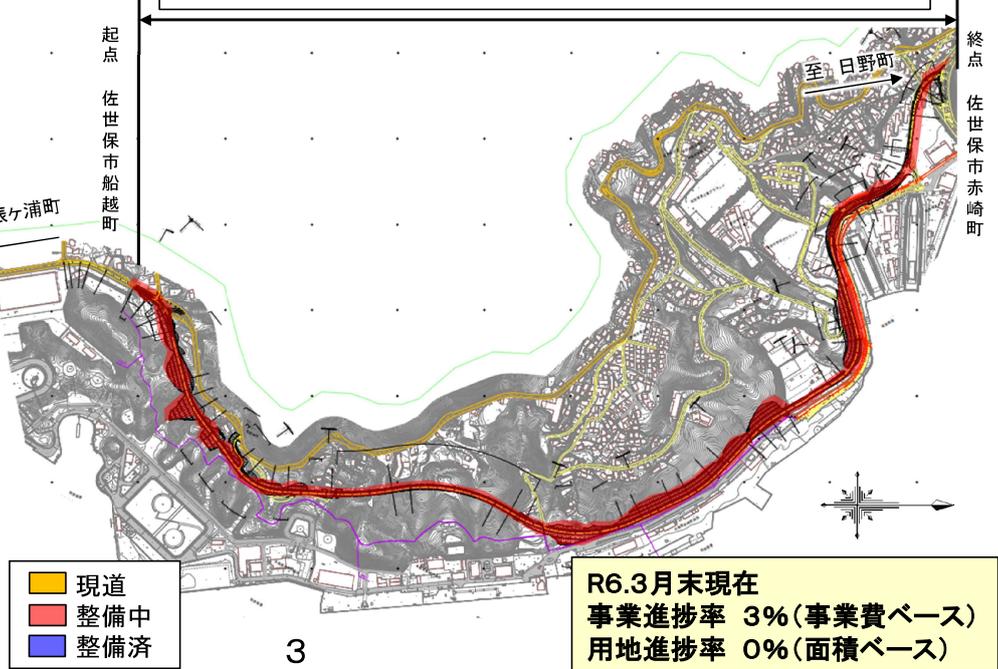
標準断面図(トンネル部)



◆事業経過

令和2年	事業化 地形測量(航空写真)・道路概略設計
令和3年	道路予備設計・地質調査
令和5年	路線測量・用地測量・道路詳細設計

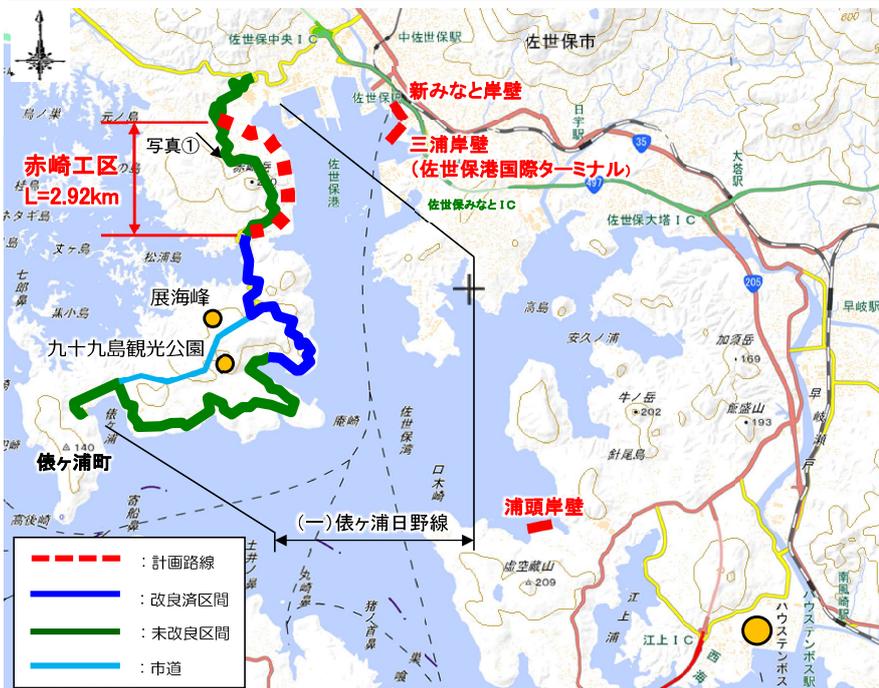
赤崎工区 全体延長L=2,920m 幅員W=6.0(9.75)m



3

3. 事業の効果・必要性

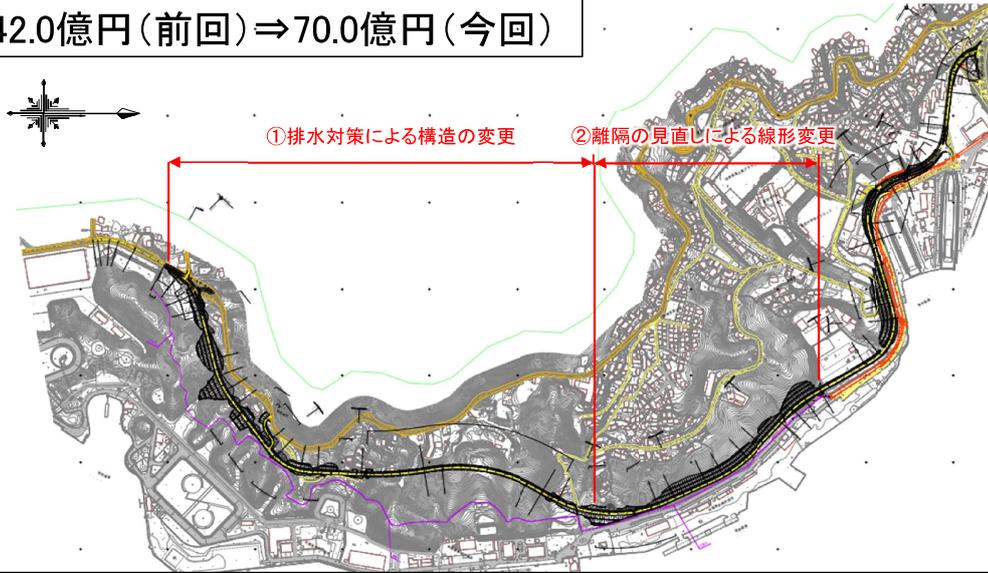
- ・展海峰などの観光資源を近隣に有し、佐世保港国際ターミナル整備に伴い、大型クルーズ船の観光客を乗せた大型バスの増加が見込まれる。
- ・当区間は急カーブが連続し、幅員狭小で大型車の離合が困難な状況である。
- ・当事業により、通行を円滑化させ、観光振興の活性化および住民生活の安全確保を図る。



4

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

【事業費】42.0億円(前回)⇒70.0億円(今回)



事業費増の内容		増額	主な増額理由
①	関係機関との協議による線形変更	約18.0億円	米軍敷地内への雨水流入道路排水を防ぐ対策による構造の変更(切土ルート⇒トンネルルートへの変更)
②		約2.0億円	米軍施設からの離隔の見直しによる線形変更
③	その他	約8.0億円	労務単価、資材単価および諸経費率の上昇
計		約28.0億円	

5

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

事業費増の内容		増額	主な増額理由
①	関係機関との協議による線形変更	約18.0億円	米軍敷地内への雨水流入を防ぐ対策による構造の変更(切土ルート⇒トンネルルートへの変更)
②		約2.0億円	米軍施設からの離隔の見直しによる線形変更



※常時排水バルブを閉めている状態であり、大雨と重なった場合、海への排水できず、敷地内が冠水しているおり、これ以上の流量の増加は認められない。

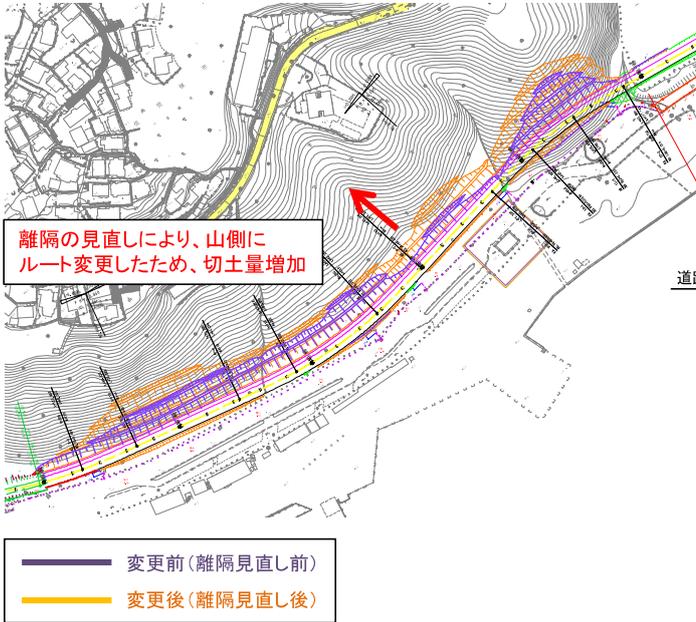
米軍施設で排水不可範囲

— 切土ルート
— トンネルルート

6

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

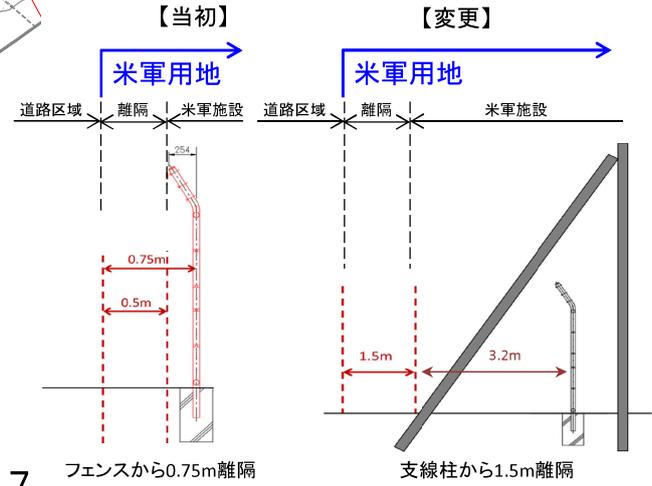
事業費増の内容		増額	主な増額理由
①	関係機関との協議による線形変更	約18.0億円	米軍敷地内への道路排水を防ぐ対策による構造の変更(切土ルート⇒トンネルルートへの変更)
②		約2.0億円	米軍施設からの離隔の見直しによる線形変更



【当初】フェンスから離隔0.75mを確保

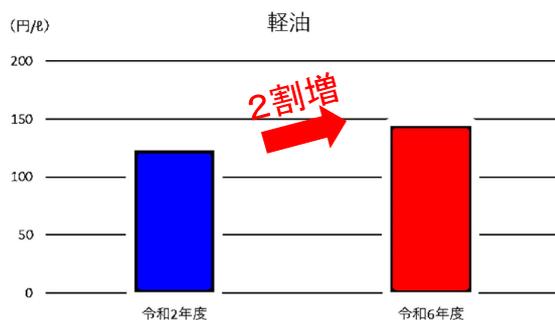
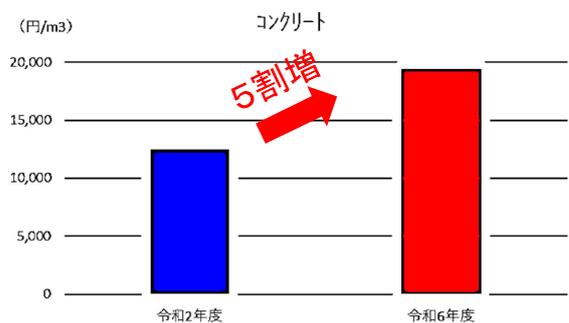
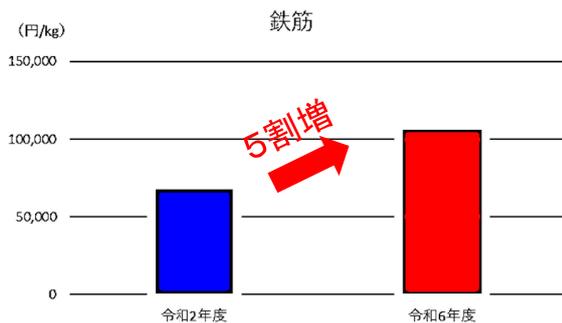


【変更】電柱の支線柱から離隔1.5mを確保



4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

事業費増の内容	増額	主な増額理由
③その他	約8.0億円	社会情勢の変化による資材・労務費の単価上昇など

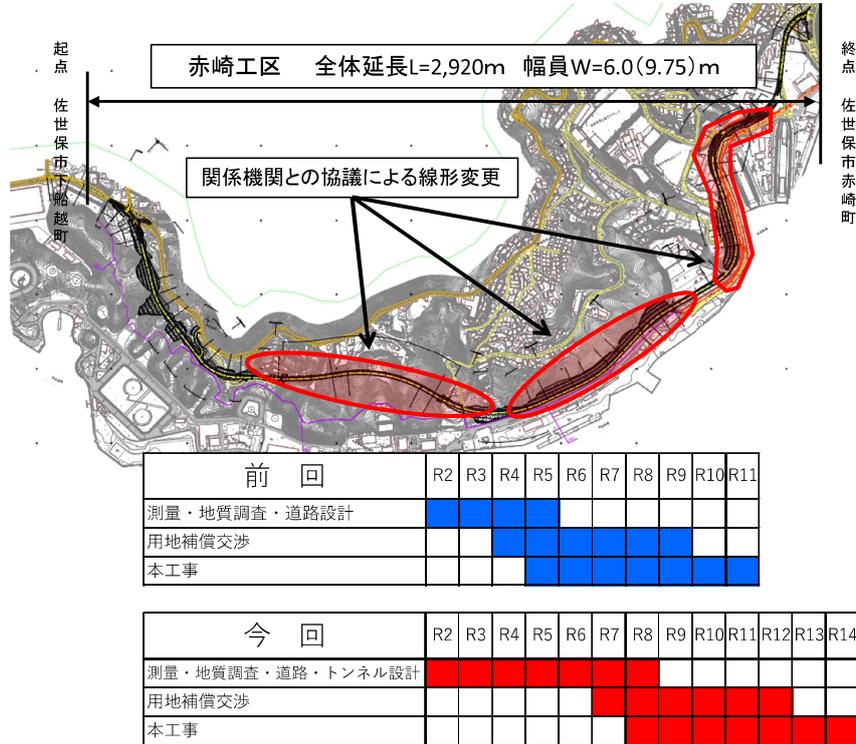


その他、労務費などの増額分を計上する。

4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R11(前回)→R14(今回)

- ・関係機関(米軍、SSK等)との協議による線形変更に伴う検討に時間を要している。



9

5. 社会情勢の変化等

- ・NEXCO西日本により、佐々IC～佐世保大塔IC4車線化が整備されることから、俵ヶ浦半島へのアクセス向上や交流促進に伴う地域の産業・経済・文化の発展が期待される。
- ・俵ヶ浦半島に展海峰と並び、観光施設として、令和4年に九十九島観光公園が開園。



10

6. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (平成31年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	—	1.15 = 66.2億円 / 57.5億円
全事業	1.21 = 40.2億円 / 33.3億円	1.10 = 66.2億円 / 60.1億円

〔費用〕

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益

〔プラス要因〕

- ・費用便益分析マニュアルの改訂
→原単位(価格)の増加

〔マイナス要因〕

- ・事業費の増
・事業期間の延長

7. 対応方針(原案)

◆本路線は幅員狭小であり、大型車の離合も困難な状況であるが、展海峰などの観光資源を近隣に有し、大型バスの通行の増加が見込まれるため、通行の円滑化を図り、観光振興の活性化および住民生活の安全確保を目的とする事業である。

◆事業進捗率は事業費ベースで3%[2.4億円/70.0億円]であり、用地進捗率は面積ベースで0%となっている。(令和6年3月末現在)

◆佐世保市から整備促進を要望されている。

◆事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

